

陳 情 文 書 表

陳 情 番 号	令和6年 陳情第1号
件 名	排泄に問題を抱える障害者（児）への日常生活用具認定に関する陳情
陳 情 者	（略） 佐野 充
内 容	<p>1 陳情の趣旨</p> <p>排泄予測支援機器「DFree」を、静岡県三島市において、日常生活用具として認定いただきたい。令和6年3月の障害保健福祉関係主管課長会議資料「日常生活用具給付等事業の適正な実施について」には、「日常生活用具給付等事業については、その事業費が年々増加傾向にあり、今後も安定した事業運営を行うためには、各市町村において効果的・効率的な事業実施が図られる必要がある。また、当事者団体等からは、一部の市町村においては、長期間にわたり種目や基準額等の見直しが行われていない状況にあるとの声も寄せられているところである。このため、各市町村においては、平成18年の障害者自立支援法以前に国が定めた基準額や実施方法にとらわれることなく、定期的に当事者の意見を聴取によるニーズ把握や実勢価格の調査等、地域の実情に即した、適切な種目や基準額となるよう定期的な見直しに努められたい。」と記載があります。これに基づき、排泄予測支援機器を、三島市において、日常生活用具として追加認定いただきたく存じます。</p> <p>2 陳情事項</p> <p>(1) [基本情報・排泄に関する情報]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・27歳、女性 ・療育手帳A1 最重度 ・知的障害、自閉的傾向、てんかん、睡眠障害 ・発話はなく、声掛けに関して反応はあるものの理解度は不明 ・トイレに関する認識はありそうなものの、尿意等はなく定時誘導を行う ・小学校卒業までトイレトレーニングを実施したが成功はせず、現状も成功率は3割程度 ・パッドやオムツ着用し、漏れが多く洗濯や掃除回数も増えていた 上記状況から、生涯パッドやオムツ生活になってしまうのではと思っていたが、トイレで排尿できると本人も気分が良く、皮膚のかぶれの軽減がみられる。できればトイレで排尿させてあげたいという気持ちです。

	<p>(2) 排泄予測支援機器「DFree」は超音波センサーにより膀胱を経時的にモニタリングし、膀胱内の尿のたまり具合を 0～10 で数値化します。その数値は専用タブレットや自身のスマートフォンで確認できます。それにより排尿のタイミングを予測し、排尿の機会を本人または介助を行う者に通知するものです。我が家では、数値が高くなったタイミングで本人へ声掛けし、トイレへ連れていきます。そうすると排尿する確率が高く 3 割程度だった成功率が 6 割程度まで増えてきています。また、尿の溜まり具合が数値化されることで、尿を溜めすぎることなく、漏らすこともなく、排尿することが可能になりました。結果、失禁の回数が大幅に減ったことで、今パッドとオムツの使用量も大幅に減り、ごみの量が 3 分の 1 程度になりました。また、外出時の失敗はほぼ 0 になりました。このように、尿意を感じるできない障害者にとって DFree は非常に有用です。DFree は令和 4 年 4 月に特定福祉用具に認定され、介護保険適用となっている。ぜひ障害者にも負担が少なく購入できるようになることを求め、上記事項を陳情いたします。</p>
付託委員会	福祉教育委員会
受理年月日	令和 6 年 1 0 月 1 8 日